ASEAN域内でビレット価格が下落

ASEANでは、中国産や域内のインドネシア産のビレット価格が先週末から今週明けにかけて下落した。ただ、市場が軟調化する中でも需要家はビレットの購入に関して慎重な姿勢を保っている。「おそらく来週までは気配も変わる。価格は下落したが、顧客は特に混乱はしていない」とマニラの輸出入関係者はコメントした。

インドネシアのDexin Steelは、８月14日から3sp grade 150mmビレットの輸出価格を5ﾄﾞﾙ値下げし、1ﾄﾝ当たりFOB450ﾄﾞﾙとした。その一方でインドネシアでは中国産ビレットの輸入もあり、ジャカルタ着の3sp grade 150mmビレットはオファーがCFR455ﾄﾞﾙ。5sp grade 150mmビレットは、８月15日以前のオファーはCFR468ﾄﾞﾙどころにあったが、その後は市場の動きに伴い値下がりし、足元はCFR460ﾄﾞﾙどころとなっている。マニラ着の5sp grade などは先週末の段階で中心値段がCFR460ﾄﾞﾙと、前週比で7.5ﾄﾞﾙ下落している。

中国・沙鋼、8月下旬の鉄筋など鋼材価格は据え置き

【Mysteel】中国の大手電炉メーカーの沙鋼集団（本社＝江蘇省）は21日、８月下旬（21～31日）の鉄筋、ワイヤーロッド、バーインコイルなど主要製品の販売価格を据え置くと発表した。

これにより、8月21～31日分の1ﾄﾝ当たりの販売価格（いずれも工場渡し、増値税13％込み）は、鉄筋（HRB400 16～20mm）が3,550元、ワイヤーロット（HPB300 6～10mm）が3,620元、バーインコイル（HRB400 8～10mm）が3,710元で横ばいとなった。

同社は市場の動きを迅速に反映するため、建材価格を月3回（上旬・中旬・下旬向け）改定し発表している。

今回の据え置きは、経済刺激策による効果がほとんど見られない中での長期的なファンダメンタルズの弱体化を反映している。ユーザー需要は低迷したままながら生産は高水準で、鋼材在庫が急増している状況だ。

Mysteel Http://www.mysteel.net/Japan/about.html
中国の金属に関する情報サイト Free Trial

近畿工業、INAC神戸レオネッサとスポンサー契約を締結

（兵庫）破砕機・選別機メーカーの近畿工業（本社＝兵庫県神戸市、和田和樹社長）はこのほど、女子プロサッカーリーグ(WEリーグ)の「INAC神戸レオネッサ」と2025/26シーズンのスポンサー契約を締結した。今後は同チームのホームゲームの中で選手たちの入場ゲートにロゴマークと応援メッセージを掲載し、知名度の向上を図るとともに、選手たちのサポートに尽力していく方針だ。

同社は1948年に創業。企業理念に「ハッピーカンパニー」を掲げ、廃棄物処理や資源リサイクルを担う機械メーカーとして環境課題の解決に取り組んでいる。

INAC神戸レオネッサも2001年の創設以来、サッカーを通じて人々の豊かな生活の実現に向けた挑戦を続けている。

今回、同社は社是である「流汗悟道」（自らの努力と創造性で生きる道を拓く）を重んじてきたことから、同チームの理念やコンセプトに共感。さらには同社の「スポーツの力で心を動かし、技術の力で社会を動かしたい」という思いもあり、スポンサー契約の締結を決断した。

今後について同社は「人と地球の『幸せ』に当社の技術が関わることで、夢や希望を持つ子どもの未来を支える持続可能な社会の実現に貢献していきたい」とコメントしている。

循環型経済へ レアメタルのリサイクル
日本製鉄㈱指定
富士マテリアル株式会社
本　　社　〒556-0016 大阪市浪速区元町１丁目５番７号（ナンバプラザビル10階）
TEL 06-6630-7066　FAX 06-6630-7067
大正工場倉庫　〒551-0002 大阪市大正区三軒家東3-7-14　TEL 06-6552-1155　FAX 06-6552-1414
https://www.fuji-material.co.jp